

○調査結果の概要

1. 貿易企業の概要

・貿易実績のある企業 231 社

2024 年(暦年)における輸出企業は 184 社(前年 187 社)、輸入企業は 100 社(同 104 社)、これらのうちで輸出入ともに行っている企業は 53 社(同 57 社)で貿易企業は 231 社(同 234 社)となった。

所在地別では、松江市が 63 社と最も多く、続いて出雲市 59 社、浜田市 24 社の順となった。

2. 貿易実績

・島根県の 2024 年貿易額は 5,218 億円

県内企業の 2024 年(暦年)の貿易額(輸出入額)は 5,218 億円(前年 5,584 億円)であり、前年比で 93.5% となった。

輸出額 3,568 億円(前年 3,112 億円)に対し、輸入額は 1,650 億円(前年 2,472 億円)となっており、1,918 億円の輸出超過(前年は 641 億円の輸出超過)となった。

(1) 輸出の実績

・輸出額は 3,568 億円 輸出全体の 78.8% が機械、電気機器及び同製品並びに部分品

2024 年(暦年)の県内企業の輸出額は 3,568 億円(前年 3,112 億円)であり、対前年比 114.7% となった。

輸出品目別では、「機械、電気機器及び同製品並びに部分品」が 2,810 億円(構成比 78.8%) と最も多く、次いで「卑金属及び同製品」が 504 億円(同 14.1%) となっており、両品目で輸出全体の 92.9% を占めた。地域別では、アジアが 653 億円(構成比 18.3%)、ヨーロッパが 240 億円(同 6.7%)、北アメリカが 163 億円(同 4.6%) となっており、この三地域で全体の 29.6% を占めている。国別輸出額でみると中国が 229 億円(構成比 6.4%)、アメリカ合衆国が 136 億円(同 3.8%)、韓国が 131 億円(同 3.7%)、ドイツが 95 億円(同 2.7%) となっている。

輸出形態では、直接輸出が 651 億円(構成比 18.3%)、間接輸出が 2,917 億円(同 81.7%) となっており間接輸出の割合が高くなっている。

輸出の積出港をみると、最も多いかったのは関西地域で全体の 24.7%、次いでその他の中国地域が 2.5% と続いている。なお山陰地方の港の積出は、浜田港が 0.7%、境港が 0.6% となっている。

(2) 輸入の実績

・輸入額は1,650億円 輸入全体の40.7%が鉱物性生産品

2024年（暦年）の県内企業の輸入額は1,650億円（前年2,472億円）であり、対前年比66.8%となった。

輸入を品目別にみると、「鉱物性生産品」が672億円（構成比40.7%）と最も多く、次いで「機械、電気機器及び同製品並びに部分品」が297億円（同18.0%）、「卑金属及び同製品」が273億円（同16.6%）となっている。地域別では、アジアが838億円（構成比50.8%）と最も多く、オセアニアが430億円（同26.1%）、北アメリカが114億円（同6.9%）と続いている。国別輸入額でみると、中国が445億円（構成比27.0%）、オーストラリアが430億円（同26.0%）、インドネシアが187億円（同11.3%）、カナダが94億円（同5.7%）となっている。

輸入形態は、直接輸入が997億円（同60.5%）、間接輸入が652億円（同39.5%）、となっており、直接輸入の割合が高かった。

輸入を荷揚港別にみると、最も多かったのは三隅港で全体の46.8%を占めた。なお、その他の山陰地方の港の荷揚げは、境港5.2%、浜田港4.3%となっている。

3. 海外直接投資及び外国企業との提携

・投資先、提携先共に中国が最多

海外への投資案件は全体で23社30件となっており、投資先を国別にみると、中国が10件となっており、地域別でみるとアジア全体で90.0%を占めている。

形態別では、独資15件、合弁7件、駐在員事務所5件、その他2件、支店1件となっている。

県内企業の外国企業との提携は全体で29社61件あり、提携先を国別にみると、中国が17件（構成比27.9%）と最も多く、次いでタイが6件となっている。地域別にみると、アジアが47件で77.0%を占め、ヨーロッパが8件、北アメリカが5件となっている。

形態別では、販売代理店契約32件、委託加工貿易16件、技術供与5件となっている。